

---

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

# TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

---

## 東京都感染症週報

2009年第7週  
(2月9日～2月15日)

- \* 2009年2月18日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は月報告(2009年1月)の疾患も掲載しています。
- \* オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況を  
16頁に掲載しています。

平成21(2009)年2月19日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

---

## 全数把握対象疾患 報告数 2009年7週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		4週	5週	6週	7週		7週	年累計
一 類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二 類	急性灰白髄炎							
	結核	48	75	68	46	390	256	2536
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
	鳥インフルエンザ (H5N1) **							
三 類	コレラ						1	1
	細菌性赤痢	1				3	1	15
	腸管出血性大腸菌感染症					2	6	67
	腸チフス		1			1		2
	パラチフス							
四 類	E型肝炎			1		1		3
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎							8
	エキノкокクス症					1		1
	黄熱							
	オウム病							1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサナル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病				1	2	1	33
	デング熱	1				3		12
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							2
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア		1	1	1	4	1	8
野兔病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1	1		2	12	6	87	
レプトスピラ症							1	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		4週	5週	6週	7週	年累計	7週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	4	1	4	2	21	14	109
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)		2	1	1	8	4	25
	急性脳炎 ***	1	1	1		4	1	39
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	3	2	14
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				2		14
	後天性免疫不全症候群	6	12	12	11	68	11	148
	ジアルジア症		1	1	1	5	1	5
	髄膜炎菌性髄膜炎							3
	先天性風しん症候群							
	梅毒	10	4	4	5	26	7	82
	破傷風					1		6
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				1		11
風しん		1			1		16	
麻しん	4	4	3	2	16	10	106	
2009/2/18集計								

\* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*\* 2008年5月12日から指定された。

\*\*\* ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

### (全数把握対象疾患のコメント)

#### 〈二類感染症〉

**結核 46件** 肺結核32件、その他の結核7件、無症状病原体保有者6件、疑似症患者1件で、推定感染地は国内45件、国内/北朝鮮1件。年齢は10歳未満1件、20歳代9件、30歳代7件、40歳代3件、50歳代7件、60歳代5件、70歳代8件、80歳代3件、90歳代3件であった。

#### 〈三類感染症〉

三類感染症の報告はなかった。

#### 〈四類感染症〉

**つつが虫病 1件** 推定感染地は島しょ地域で、山中で虫に胸部を刺咬されたことと関連している。

**マラリア 1件** 熱帯熱マラリアで、推定感染地はマラウイ(東アフリカ)であった。

**レジオネラ症 2件** 肺炎型1件、ポンティアック型1件で、ともに80歳代女性。推定感染地はともに都内。1件は自宅における水系感染/塵埃感染が、他の1件は施設内入浴施設との関連が疑われている。

#### 〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 2件** 腸管アメーバ症1件、腸管及び腸管外アメーバ症1件で、推定感染地は国内/フィリピン1件、不明1件、感染経路はともに不明であった。

**ウイルス性肝炎 1件** B型で、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触であった。

**クロイツフェルト・ヤコブ病 1件** 孤発性古典型CJD 1件で、70歳代であった。

**後天性免疫不全症候群 11件** 無症候性キャリア6件、AIDS 4件、その他1件で、推定感染地は国内9件、不明2件、推定感染経路は性的接触10件(同性間9件、両性間1件)、同性間性的接触/静注薬物使用1件であった。

**ジアルジア症 1件** 感染地、感染経路ともに不明であった。

**梅毒 5件** 早期顕症梅毒Ⅰ期1件、早期顕症梅毒Ⅱ期2件、無症候2件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路はすべて性的接触(同性間1件、異性間3件、性別不明1件)であった。

**麻しん 2件** 麻しん(臨床診断例)1件、修飾麻しん(検査診断例)1件、年齢はともに20歳代であった。麻しん含有ワクチン接種歴はともに1回であった。

※第6週該当分として、五類 梅毒 1件(晩期顕症梅毒 推定感染地国内 感染経路不明)の追加報告があった。

## 定点把握対象疾患 報告数 2009年7週

定点種別	対象疾患	2009年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		4週	5週	6週	7週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	12	5	7	6	0.04	147	150
	咽頭結膜熱	21	18	31	32	0.22		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	297	296	347	291	1.98		
	感染性胃腸炎	1,124	1,022	944	911	6.20		
	水痘	175	132	192	176	1.20		
	手足口病	12	11	5	7	0.05		
	伝染性紅斑	37	29	31	30	0.20		
	突発性発しん	65	68	72	55	0.37		
	百日咳	0	7	4	2	0.01		
	ヘルパンギーナ	6	5	3	3	0.02		
	流行性耳下腺炎	52	61	47	62	0.42		
	不明発しん症 (注1)	6	11	6	9	0.06		
	MCLS(川崎病) (注1)	3	2	1	3	0.02		
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	9,166	8,582	4,921	3,005	10.58	284	290
眼科	急性出血性結膜炎	0	1	2	1	0.03	38	39
	流行性角結膜炎	8	7	14	7	0.18		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	0	2	1	0	0.00	24	24
	無菌性髄膜炎	1	0	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	4	6	4	4	0.17		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	2	1	3	2	0.08		
2009/2/18集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病) は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

# 風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

### (定点把握対象疾患のコメント)

・インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続して減少した。過去5年平均の同時期よりも低いレベルとなっており、都全体では警報レベルを下回った。保健所管轄地域31か所中、警報レベルにある地域は7か所(すべて警報継続基準値10人/定点以上の地域)、注意報レベルにある地域は5か所であった。

・クラミジア肺炎の定点当たり報告数は減少したが、継続して患者報告がみられている。過去の同時期にはほとんど報告がなく、引き続き注意が必要と思われる。

### (定点医療機関からのコメント)

\* インフルエンザに関するコメントは13-14頁にまとめて記載しました。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2009年7週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月			2	5	1			2		
～11か月	4	5	6	38	12		2	23		
1歳	1	6	9	111	28	1	2	23		
2歳		7	17	73	29	2	4	7		
3歳	1	3	21	58	29		3			
4歳		7	38	79	28	1	4			
5歳			35	66	20	2	4			
6歳		1	40	56	12		3			
7歳			31	42	3		5			1
8歳		1	26	36	9	1				
9歳			19	37	1		1		1	
10～14歳		1	28	110	2		2			1
15～19歳			1	31						
20～29歳		1	18	169	2				1	1
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	6	32	291	911	176	7	30	55	2	3
先週比	-1	1	-56	-33	-16	2	-1	-17	-2	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1		8		
～11か月		1	2	26		
1歳	3	1		99		
2歳	4	2		105		
3歳	6	1		148		
4歳	13	1	1	247		
5歳	8			208		
6歳	6			254		
7歳	8	1		230		
8歳	8			202		
9歳	2			179		
10～14歳	3			509		
15～19歳		1		100		
20～29歳	1			128	1	3
30～39歳				278		2
40～49歳				171		
50～59歳				63		
60～69歳				35		2
70～79歳				12		
80歳以上				3		
合計	62	9	3	3005	1	7
先週比	15	3	2	-1916	-1	-7

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

### 全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2009年7週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		2
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計		2

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2009年7週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				1				1		
中央区				6	1			1		
みなと		7	8	60	4			1		
新宿区	1	2	9	26	9		2	1		
文京			2	7	8			1		
台東	2	2	6	26			1			
墨田区			4	20	6			1		
江東区			8	57				3		
品川区		1	23	48	4	1	3	5		
目黒区				5	5		1			
大田区		10	13	66	17	3	12	7		
世田谷		3	5	44	8			3		
渋谷区			2	18	6		2	1		
中野区			5	60	4					
杉並			14	53	3		2	3		
池袋		2	1	14	3			1		
北区		1	2	28	4			5		
荒川区			11	1	8					
板橋区				24	9		1			
練馬区			1	17	5			2		
足立		1	9	19	1			1		2
葛飾区			10	20	10		1	1	1	
江戸川		1	18	45	10	1		6		
八王子市			73	48	12	1	1	1	1	
西多摩			5	33	2	1				
南多摩		1	17	13	12			2		1
町田	1		21	52	6		4	4		
多摩立川			2	17	1					
多摩府中			4	34	10			3		
多摩小平	2	1	18	49	6			1		
島しょ					2					
東京都合計	6	32	291	911	176	7	30	55	2	3

全数把握対象疾患  
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】2009年7週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				14		
中央区				13		
みなと	1			73		
新宿区				40		1
文京	1			51		2
台東	1			17		
墨田区	1			43		
江東区	3	1		144		
品川区		1		56		
目黒区				18		
大田区	2		1	168		1
世田谷	2			136		
渋谷区				41		
中野区				103		
杉並	1		1	117		
池袋				52		
北区	6	1		47		
荒川区				23		
板橋区				65	1	
練馬区	1			106		
足立	2			81		
葛飾区	5	1		100		
江戸川	4			159		
八王子市	15			201		1
西多摩	2			183		
南多摩	2			162		
町田	5	2		221		
多摩立川	1			110		
多摩府中	2		1	174		1
多摩小平	5	3		261		1
島しょ				26		

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		1
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		1
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	62	9	3	3,005	1	7
-------	----	---	---	-------	---	---

東京都合計		2
-------	--	---

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2009年7週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				0.25				0.25		
中央区				2.00	0.33			0.33		
みなと		1.17	1.33	10.00	0.67			0.17		
新宿区	0.17	0.33	1.50	4.33	1.50		0.33	0.17		
文京			0.67	2.33	2.67			0.33		
台東	0.67	0.67	2.00	8.67			0.33			
墨田区			1.33	6.67	2.00			0.33		
江東区			2.00	14.25				0.75		
品川区		0.17	3.83	8.00	0.67	0.17	0.50	0.83		
目黒区				1.67	1.67		0.33			
大田区		1.11	1.44	7.33	1.89	0.33	1.33	0.78		
世田谷		0.38	0.63	5.50	1.00			0.38		
渋谷区			0.50	4.50	1.50		0.50	0.25		
中野区			0.83	10.00	0.67					
杉並			2.33	8.83	0.50		0.33	0.50		
池袋		0.50	0.25	3.50	0.75			0.25		
北区		0.25	0.50	7.00	1.00			1.25		
荒川区			5.50	0.50	4.00					
板橋区				4.80	1.80		0.20			
練馬区			0.20	3.40	1.00			0.40		
足立		0.20	1.80	3.80	0.20			0.20		0.40
葛飾区			3.33	6.67	3.33		0.33	0.33	0.33	
江戸川		0.20	3.60	9.00	2.00	0.20		1.20		
八王子市			18.25	12.00	3.00	0.25	0.25	0.25	0.25	
西多摩										
南多摩		0.25	4.25	3.25	3.00			0.50		0.25
町田	0.25		5.25	13.00	1.50		1.00	1.00		
多摩立川			0.33	2.83	0.17					
多摩府中			0.40	3.40	1.00			0.30		
多摩小平	0.33	0.17	3.00	8.17	1.00			0.17		
島しょ					2.00					

東京都	0.04	0.22	1.98	6.20	1.20	0.05	0.20	0.37	0.01	0.02
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

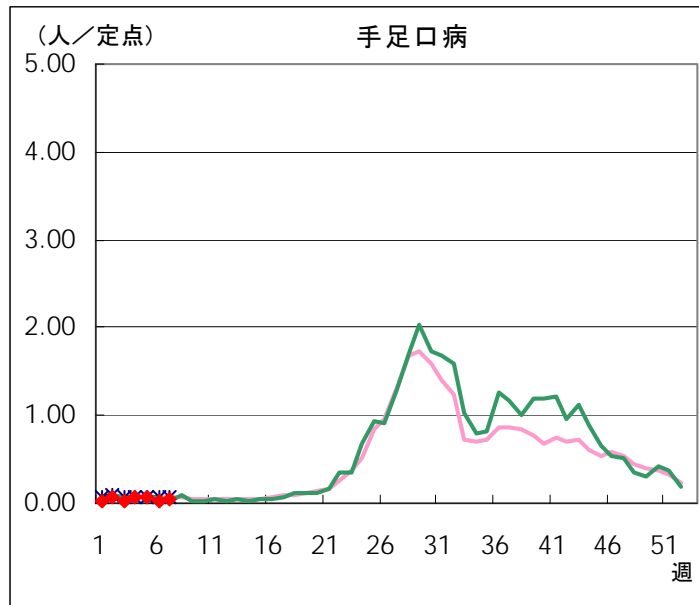
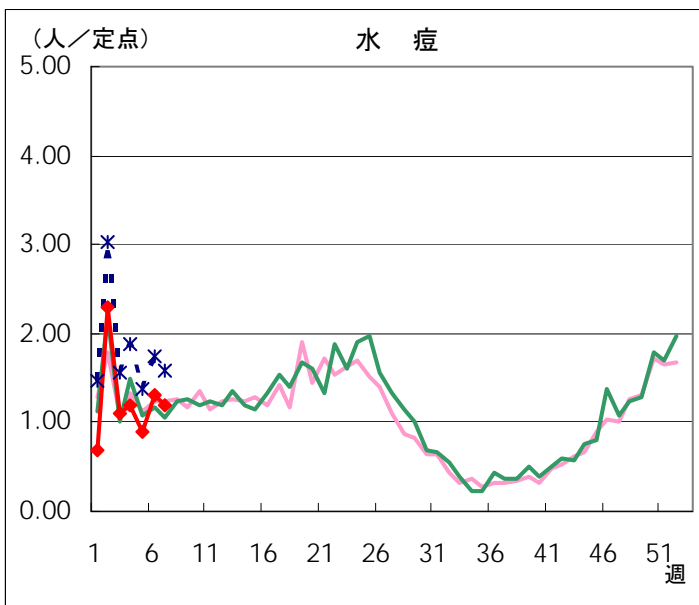
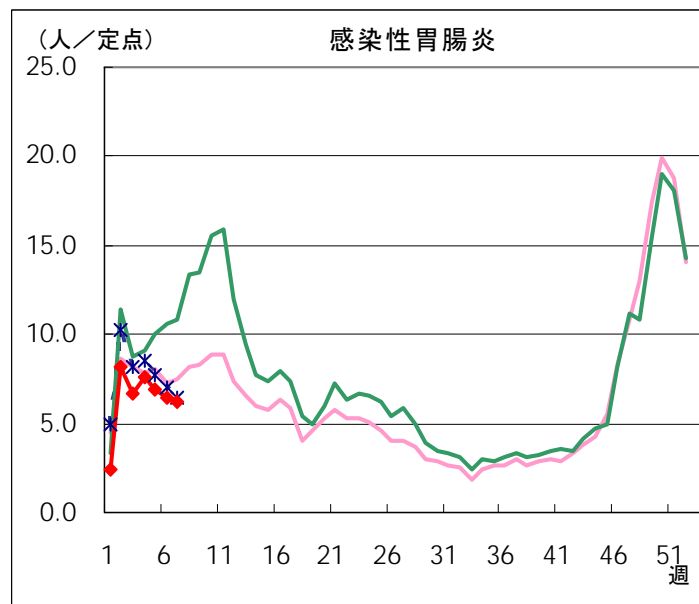
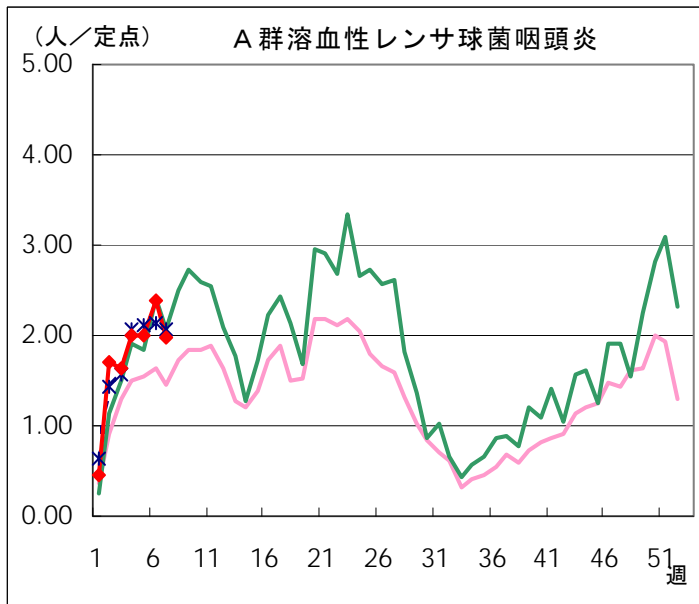
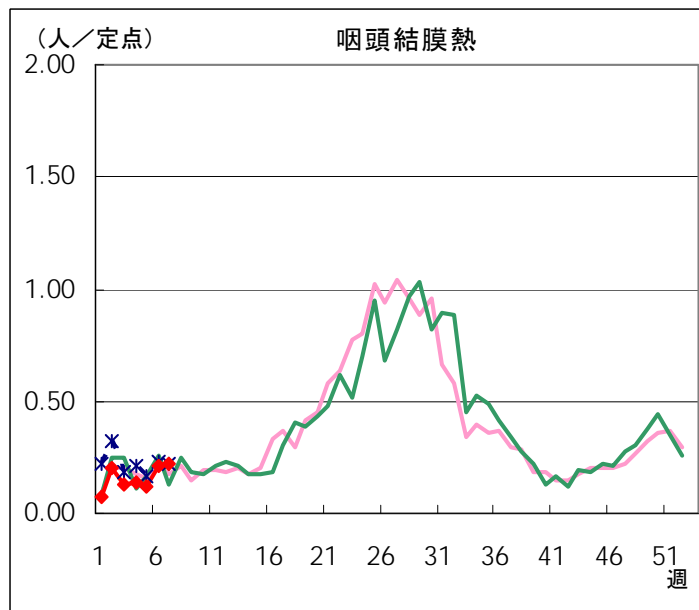
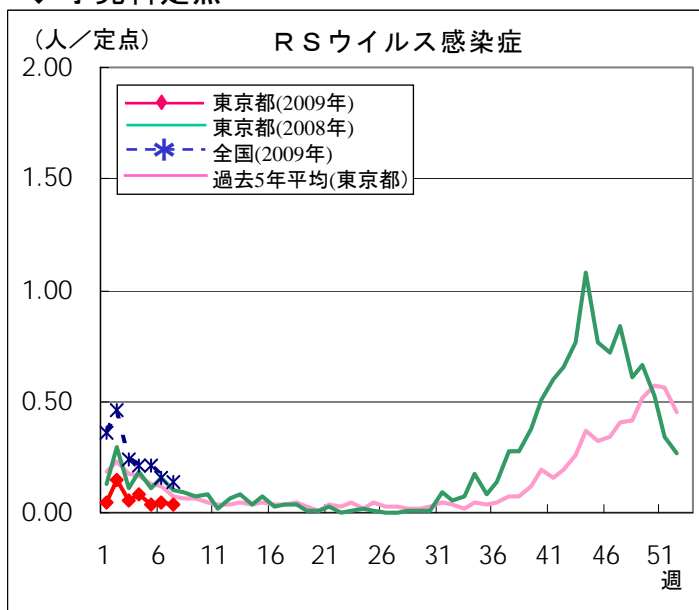


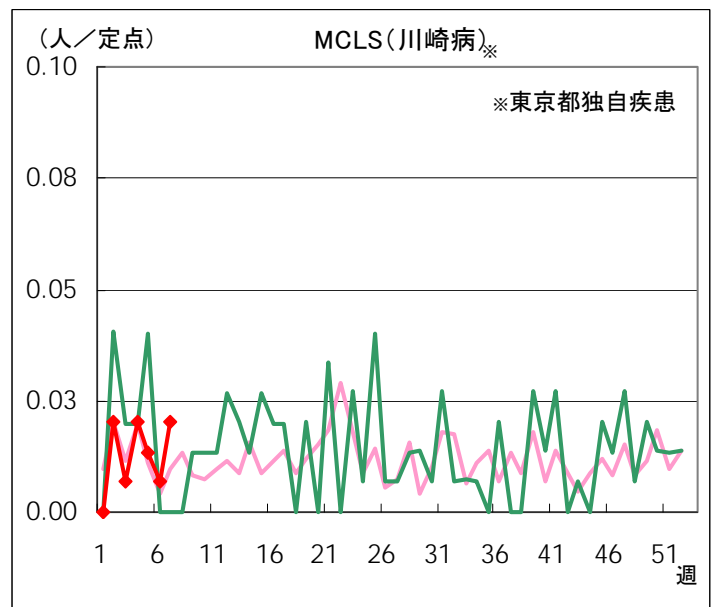
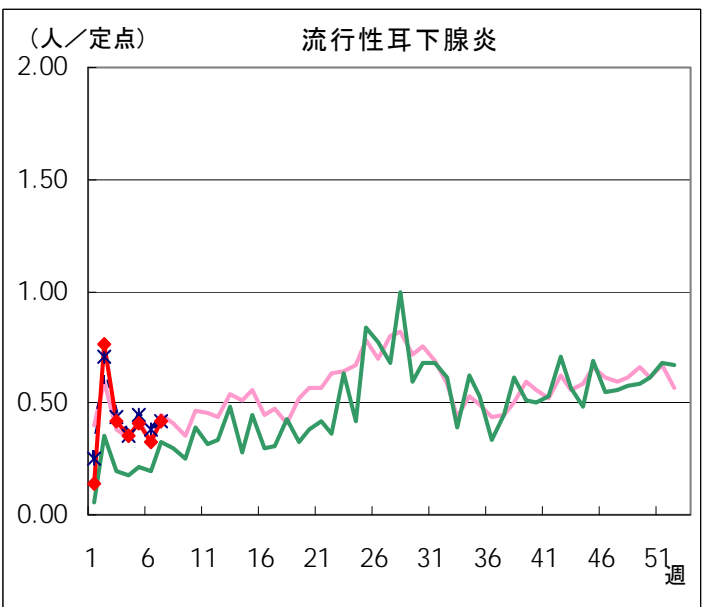
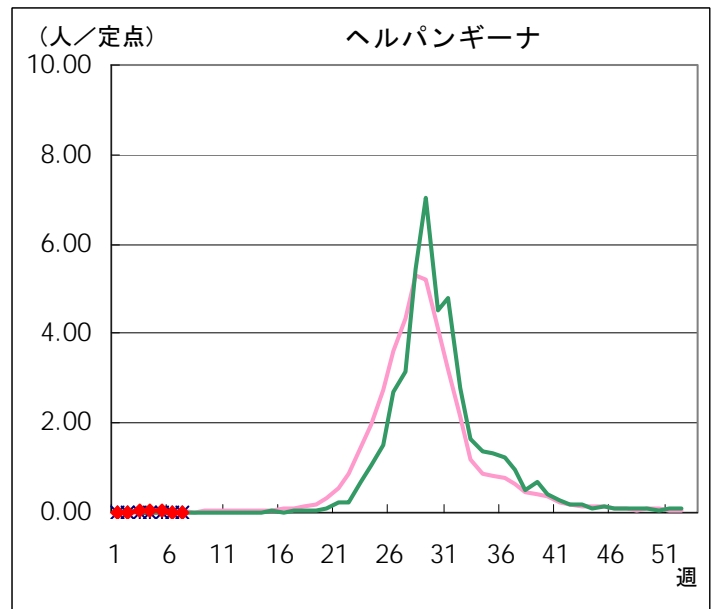
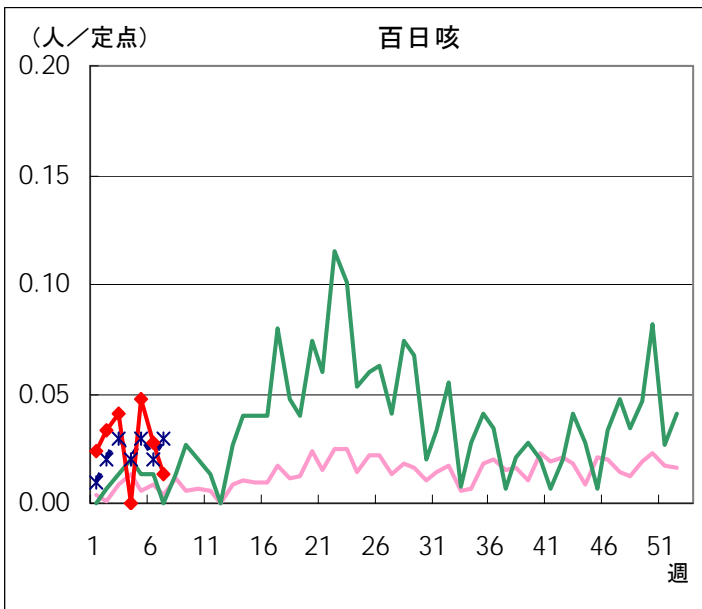
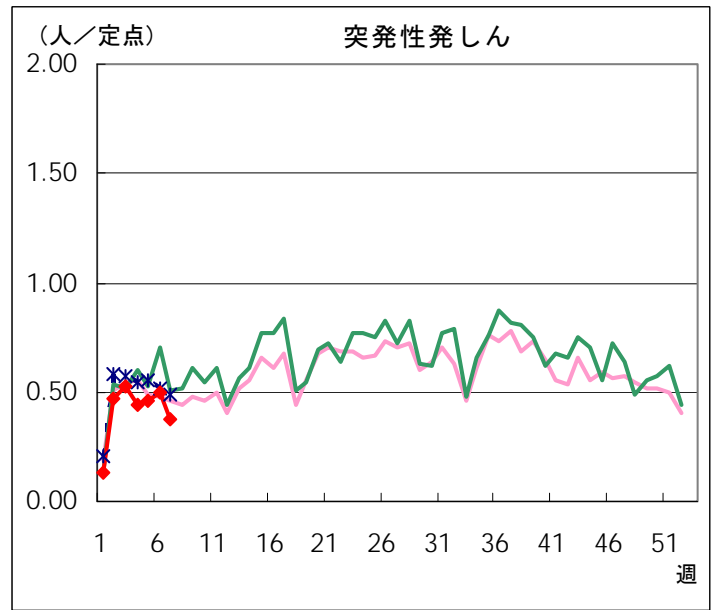
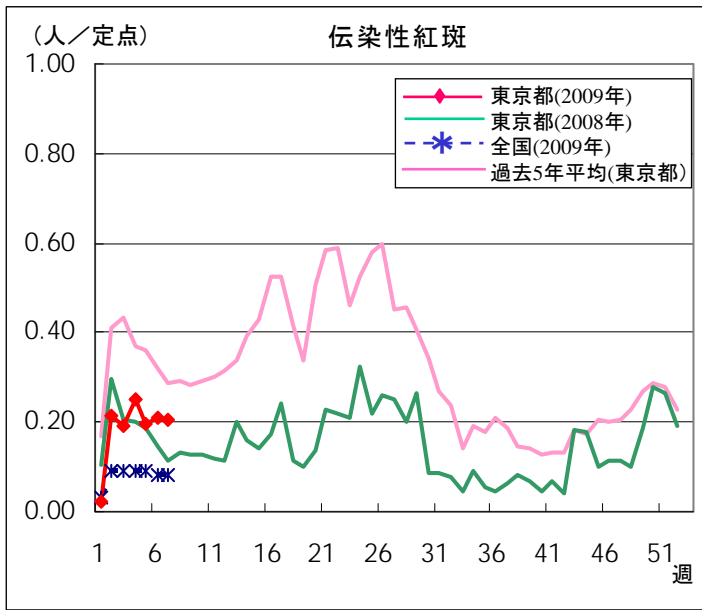
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				2.80		
中央区				3.25		
みなと	0.17			9.13		
新宿区				4.44		0.50
文京	0.33			10.20		2.00
台東	0.33			3.40		
墨田区	0.33			7.17		
江東区	0.75	0.25		16.00		
品川区		0.17		5.60		
目黒区				3.00		
大田区	0.22		0.11	10.50		0.50
世田谷	0.25			9.07		
渋谷区				6.83		
中野区				11.44		
杉並	0.17		0.17	9.75		
池袋				7.43		
北区	1.50	0.25		5.88		
荒川区				5.75		
板橋区				5.91	0.50	
練馬区	0.20			8.83		
足立	0.40			7.36		
葛飾区	1.67	0.33		12.50		
江戸川	0.80			13.25		
八王子市	3.75			20.10		0.50
西多摩				20.33		
南多摩	0.50			18.00		
町田	1.25	0.50		24.56		
多摩立川	0.17			9.17		
多摩府中	0.20		0.10	8.29		0.50
多摩小平	0.83	0.50		18.64		0.50
島しょ				13.00		

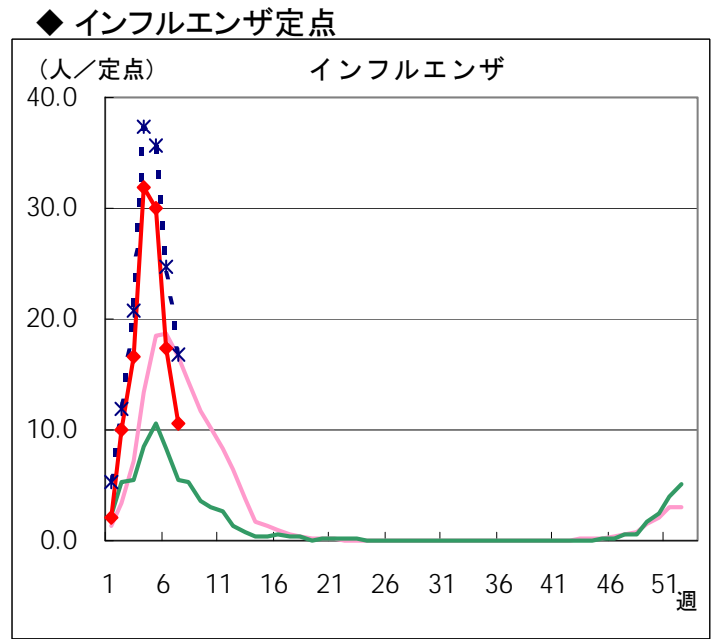
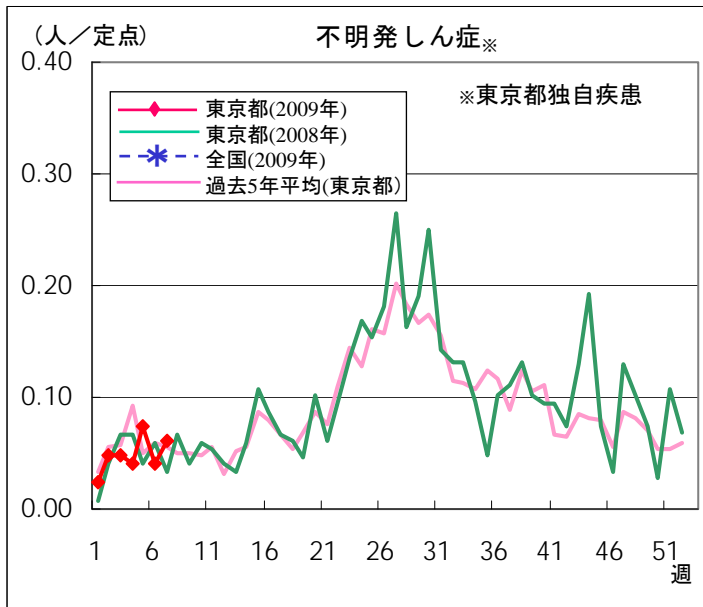
東京都	0.42	0.06	0.02	10.58	0.03	0.18
-----	------	------	------	-------	------	------

# 定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2009年7週現在

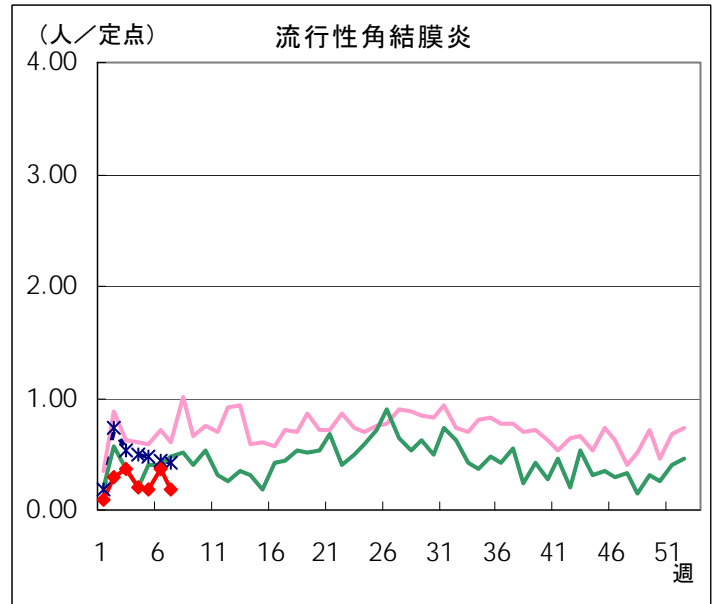
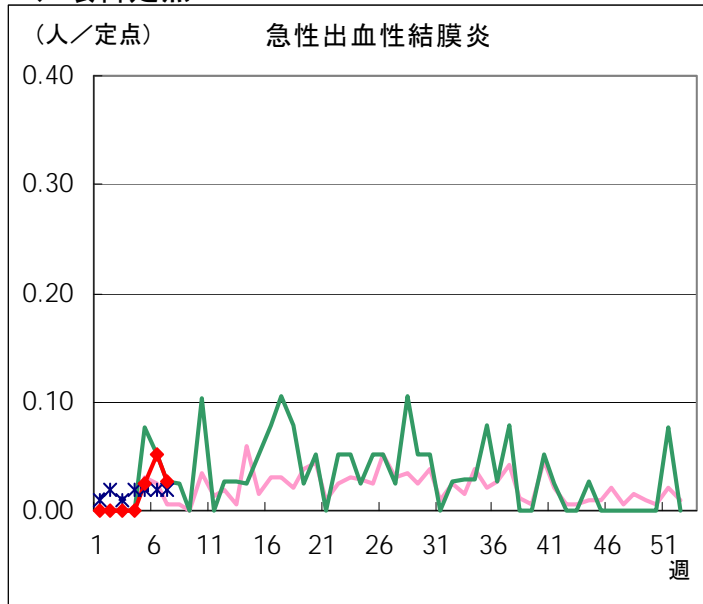
## ◆ 小児科定点



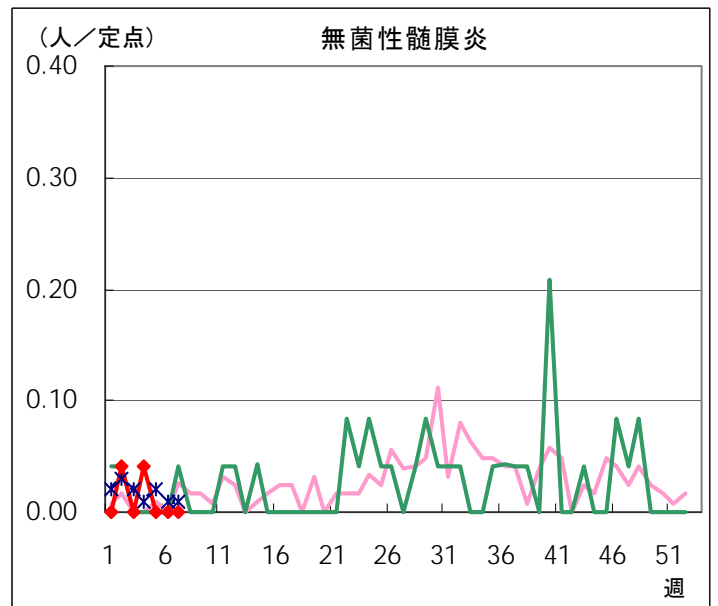
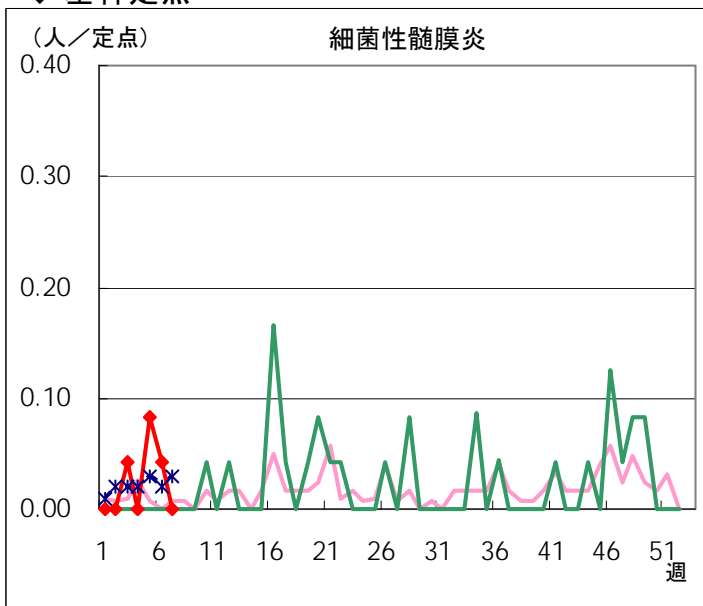


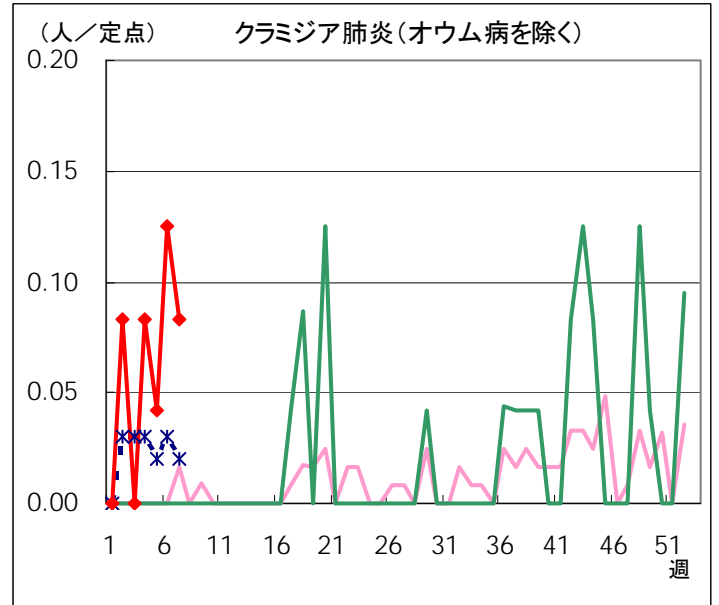
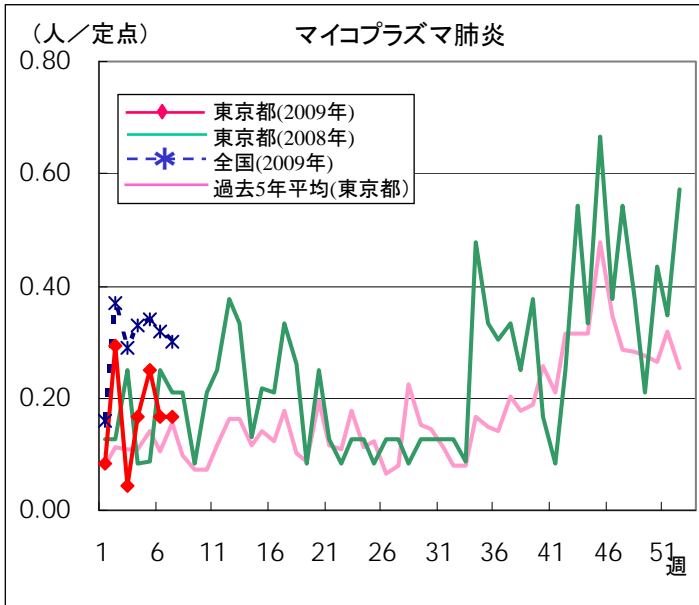


◆ 眼科定点

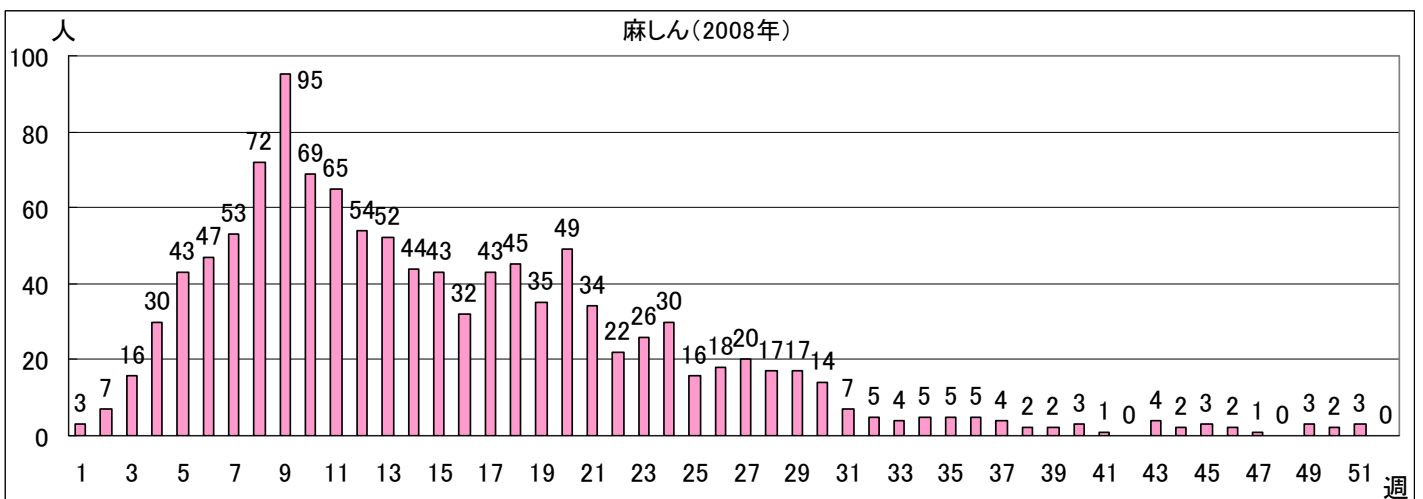
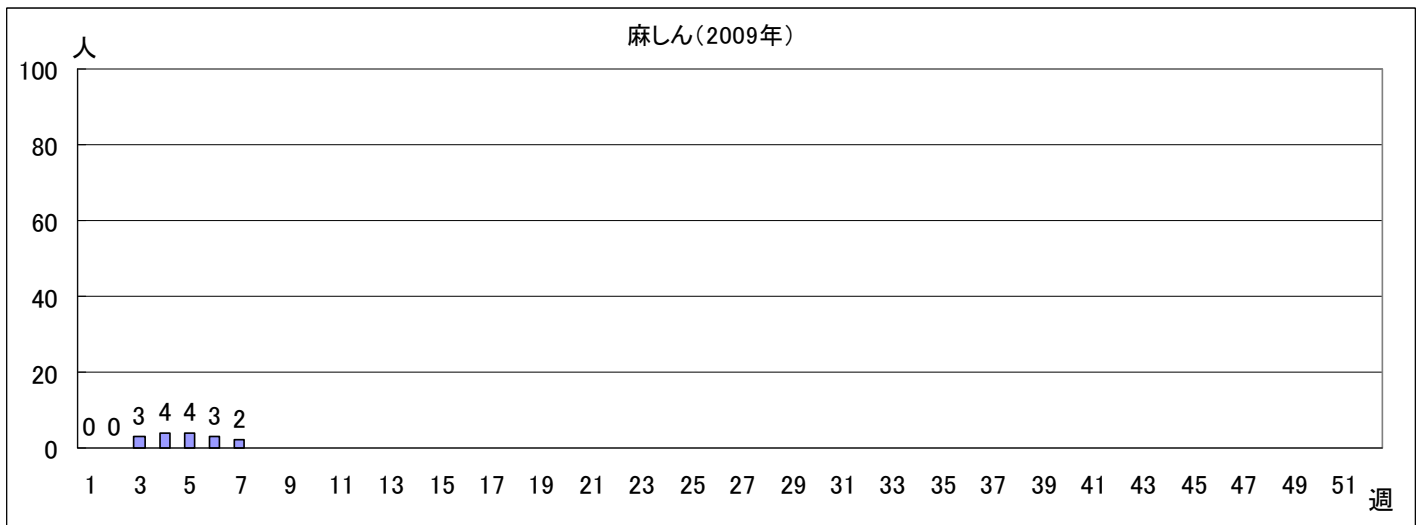


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2009年7週現在



## 定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	2	8	
	3	1	インフルエンザA型 3名、B型 1名(8歳児 今季初のB型です。)
	21		
新宿区	3	2	
	5		
	3	2	
江東	25	5	
	3	1	
	20	3	
品川区	2		
	20	6	
目黒区	1		
	14		
		1	
大田区	14	3	
	6	1	
	20	1	
	11	2	B型は41歳・18歳の2名、A型は11名。
	12	1	
	2		
	11	2	
世田谷区	5	4	
	3		
	5	1	他3名
	5	1	
	8	2	
	17	6	
		1	
		2	
中野区	2	5	A型2名、B型5名、A型とB型ともに陽性2名。
	2	8	
	17	9	
	5	2	A型5名、B型2名、A型とB型ともに陽性1名。
	4	2	
	9	7	A型9名、B型7名、他1名。2/15(日)は当番医でしたが、その日だけで11名来院しました。
	15		A型15名。小学生が多く罹患していました。
	6		A型6名。インフルエンザの流行の峠は過ぎたようです。
	5	1	

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
池袋	4	1	
	7	1	
	2		
北区	6	3	4歳児1名、5歳児1名、6歳児1名がB型。それ以外はA型です。
	10	4	
			当院では、急速にインフルエンザは終息に向かっているようです。週の後半はほとんどインフルエンザはいませんでした。(全3名)
西多摩	4		
	21	4	
	1	1	
	19	2	1日のみ高熱38～39℃あり、その後37℃前後になってしまうB型インフルエンザが多い。(全32名)
南多摩	14	4	
	60	8	
町田			2/11(水)休日当番医で7名インフルエンザ。
多摩立川	9		全員A型(10歳児2回接種済)
	12	2	14名中B型2名(24歳・40代)
	9	7	A型:7歳2名/9歳4名/15歳/25歳/33歳 B型:6歳/7歳/9歳/11歳2名/12歳/13歳 症状により:25歳/42歳
	8	1	
	1		
多摩小平	1		
	10	1	
	3	1	
	12	15	
	20	20	
	27	9	
			非常に軽い例も見られる。全体としてやや沈静化の傾向。(全60名)
	3	7	
	11	7	
	9	2	
2	1		
八王子市	18	5	
	35	16	
	1	2	
	6	1	
	10	1	
	25	6	
	31	6	

## 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

\*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
1/27	咽頭炎	5	咽頭拭い液	ライノウイルス	遺伝子
1/28	感染性胃腸炎	2	糞便	ノロウイルス	
1/30	肺炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
1/30	胃腸炎	1	糞便	A群ロタウイルス	抗原
1/30	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	遺伝子
1/30	溶連菌感染症	8	咽頭拭い液	A群溶連菌/MSSA (T-4型/コアグラールⅢ型)	分離同定
2/1	ロタウイルス胃腸炎、脳症	3	糞便	A群ロタウイルス	抗原
2/2	不明発しん症	6M	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	遺伝子
2/2	流行性耳下腺炎	3	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
2/3	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型 サイトメガロウイルス ムンプスウイルス	
2/4	けいれん群発	2	咽頭拭い液	アデノウイルス ヒトヘルペスウイルス6型、7型	
			糞便	アデノウイルス、エンテロウイルス	
2/4	上気道炎、アデノ感染症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
2/4	敗血症、膿胸	5M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
2/5	不明発しん症	10M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
2/5	インフルエンザ、不明発しん	9M	咽頭拭い液	アデノウイルス ヒトヘルペスウイルス6型、7型	
2/6	不明発しん症	5M	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
2/6	百日咳	7	咽頭拭い液	ライノウイルス、百日咳	
記載無し	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型	



◇定点医療機関から搬入された検体の遺伝子検査法による亜型

亜型検出件数	インフルエンザウイルス		
	AH1型	AH3型	B型
6週	59	22	5
今シーズン累計	163	77	13

### オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況

2/18現在

調査方法	A/H1N1分離株	耐性株
感染症発生動向調査	2	2
学級閉鎖等	11	11

詳しくは<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/>を参照下さい。

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2008/2009年							
		50週	51週	52+1週	2週	3週	4週	5週	6週
ウイルス	アデノウイルス	8	9	9	2	3	7	12	3
	ライノウイルス		10	2	4	2	2	6	4
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								1
	その他のエンテロウイルス	11	8	10	2	6	4	4	
	単純ヘルペスウイルス	1	1			2		3	
	水痘・帯状疱疹ウイルス	1							
	ヘルペスウイルス6/7	1	7	5	4	3	2	4	7
	EBウイルス	1	2	3	5	3	2	1	
	サイトメガロウイルス			1	4	2	4		3
	ムンプスウイルス	1	1	4	3	3	1	2	2
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19		1	1			1		
	RSウイルス	4	7	1			1	1	1
	ノロウイルス	1	11	4	2	6	2	3	1
	ロタウイルス			1		1			2
	インフルエンザウイルスAH1	4	8	6	18	13	29	20	59
	インフルエンザウイルスAH3	1	2	7	8	7	9	9	22
	インフルエンザウイルスB				1			2	5
デングウイルス									
その他のウイルス		1							
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌	1						1	
	溶血性レンサ球菌		1	1				1	1
	その他の細菌			1	1			2	1
その他の病原体						1	1	1	

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2008年50週～2009年6週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数	256	43	35	69	53	2	5	5	1	6	3	36	18	3	1		125	
ウ イ ル ス	アデノウイルス	14	7	5	3	1	2	3		2		3	3				10	
	ライノウイルス	2	8	4	2					1	1	1	4				7	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	1
	その他のエンテロウイルス	4	4	2	9	5	1		1	1	4		3		1			10
	単純ヘルペスウイルス	1				1												5
	水痘・帯状疱疹しんウイルス														1			
	ヘルペスウイルス6/7		1								2		12	1		1		16
	EBウイルス	1				2						1	3	7				3
	サイトメガロウイルス					1							12					1
	ムンプスウイルス					3								13				1
	麻しんウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											2	1					
	RSウイルス	1	5	8														1
	ノロウイルス		2		27													1
	ロタウイルス				4													
	インフルエンザウイルスAH1	151	4															2
インフルエンザウイルスAH3	63	1	1															
インフルエンザウイルスB	8																	
デングウイルス																		
その他のウイルス				1														
細 菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																2	
	溶血性レンサ球菌							3									1	
その他の細菌		3					2											
その他の病原体		1	1														1	

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2009年1月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	100	1.85	54	55
		女	85	1.57		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	35	0.65		
		女	31	0.57		
	尖圭コンジローマ	男	43	0.80		
		女	18	0.33		
	淋菌感染症	男	74	1.37		
		女	11	0.20		
	膣トリコモナス症*	男	0	0.00		
		女	16	0.30		
梅毒様疾患	男	5	0.09			
	女	1	0.02			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	86	3.74	23	24
		女	47	2.04		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	20	0.87		
		女	18	0.78		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	4	0.17		
		女	1	0.04		
2009/2/9						

\* 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

## 月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2009年1月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	3		1	2		
20～24歳	13		5	11		
25～29歳	19	4	8	20		
30～34歳	17	11	6	9		2
35～39歳	19	4	4	14		1
40～44歳	14	8	8	6		
45～49歳	9	3	3	4		
50～54歳	5	2	4	6		1
55～59歳	1		2	1		1
60～64歳		2	2	1		
65～69歳		1				
70歳～						
合 計	100	35	43	74		5
先月数	101	30	36	71	1	5
増減数	-1	5	7	3	-1	

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	10			3	1	
20～24歳	26	7	6	3	1	
25～29歳	19	8	4		1	
30～34歳	14	4	4	3	2	
35～39歳	7	3	3		1	1
40～44歳	4	3		2	1	
45～49歳	2	2			1	
50～54歳	2	1			3	
55～59歳		1	1			
60～64歳		1				
65～69歳					2	
70歳～	1	1			3	
合 計	85	31	18	11	16	1
先月数	107	40	24	16	9	3
増減数	-22	-9	-6	-5	7	-2

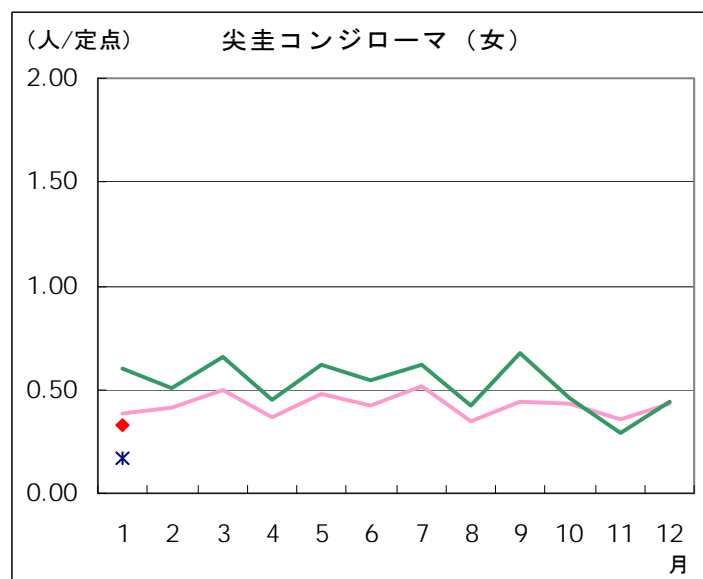
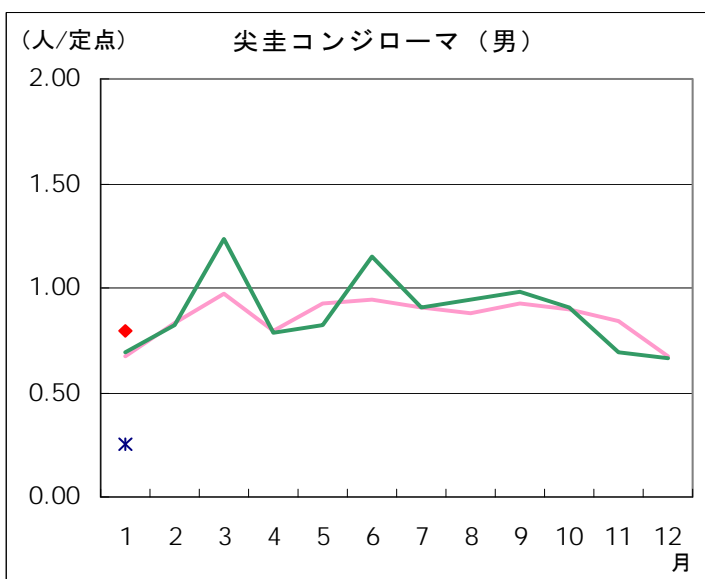
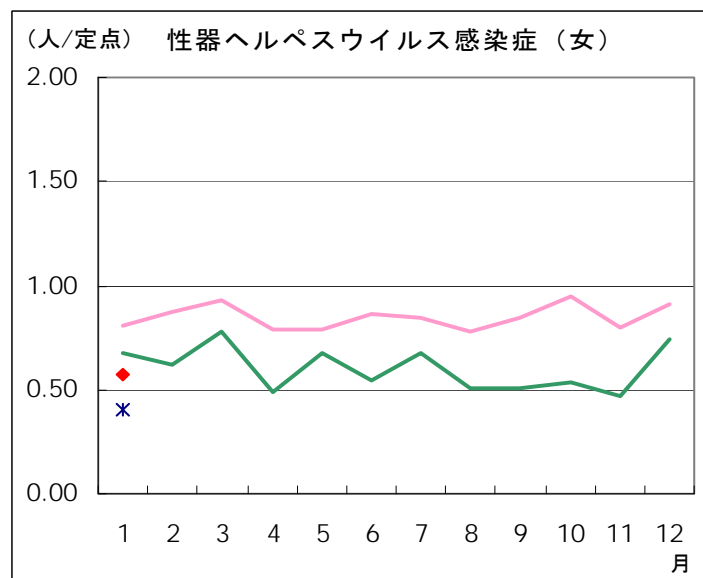
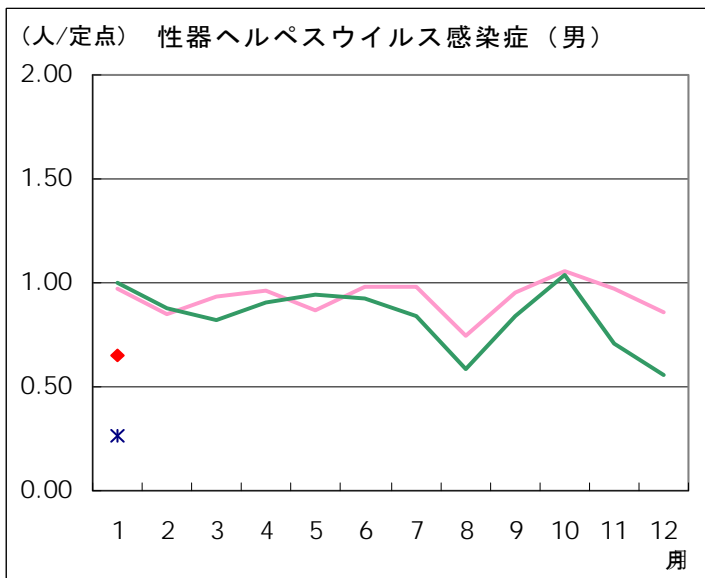
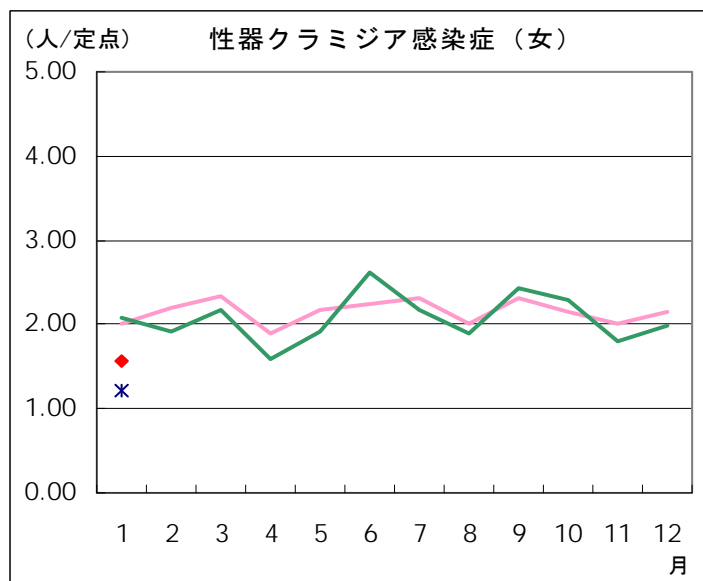
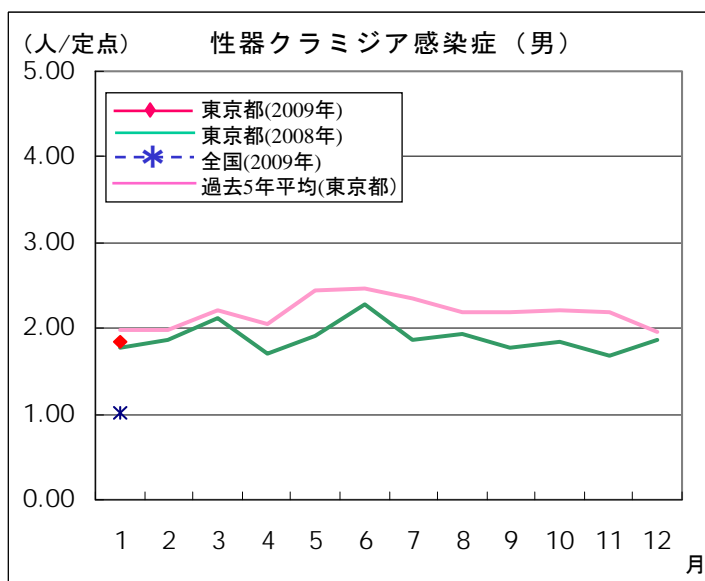
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2009年1月

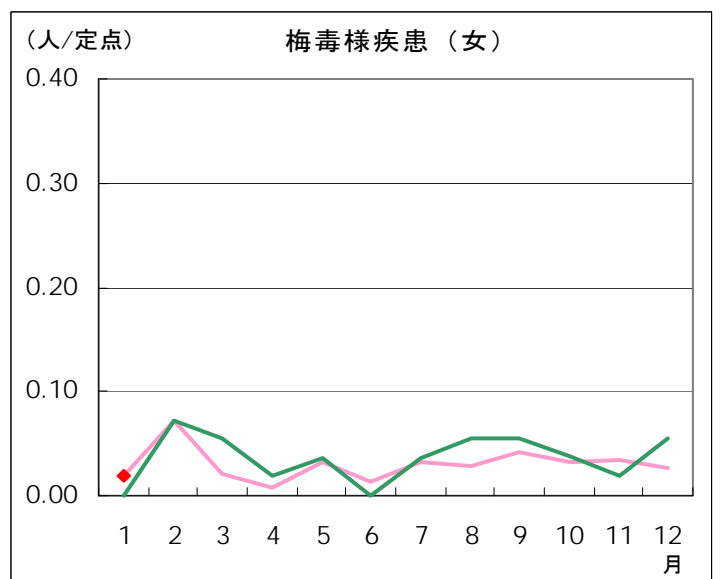
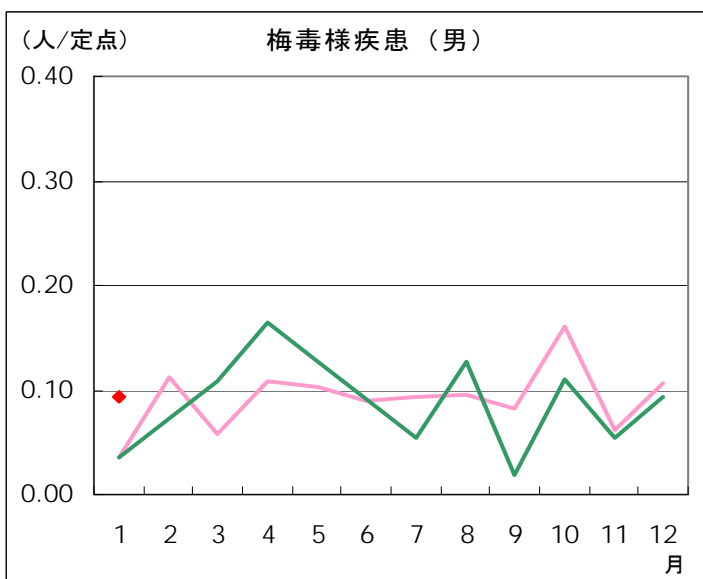
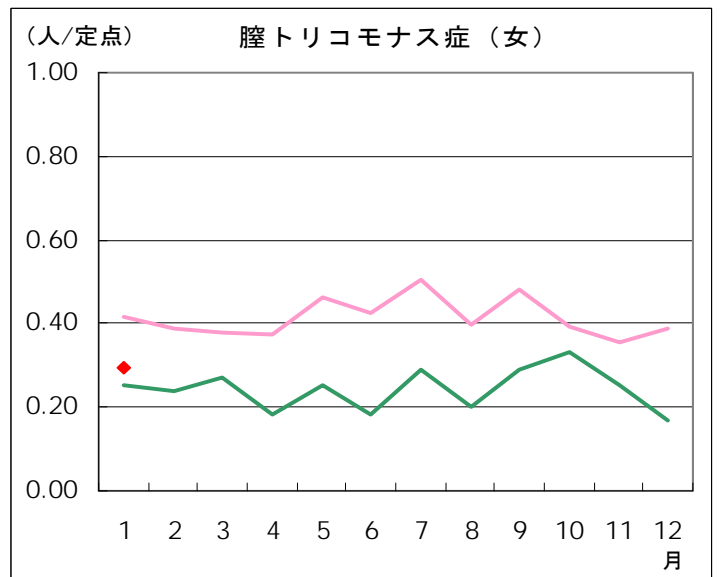
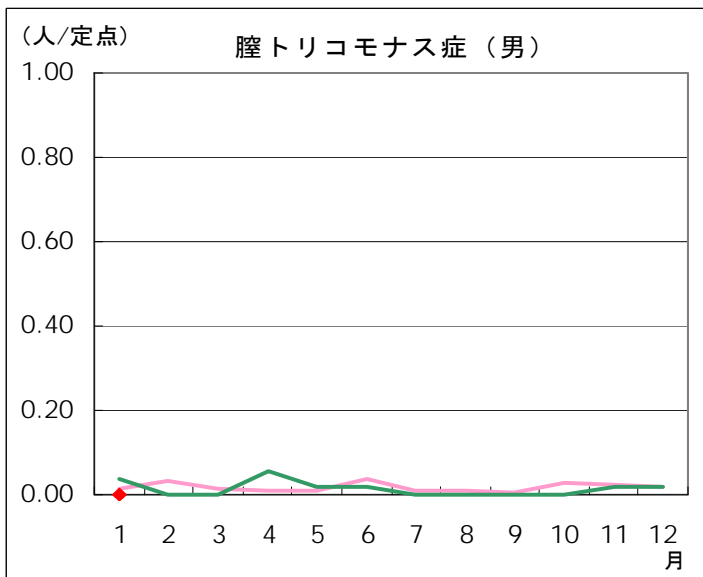
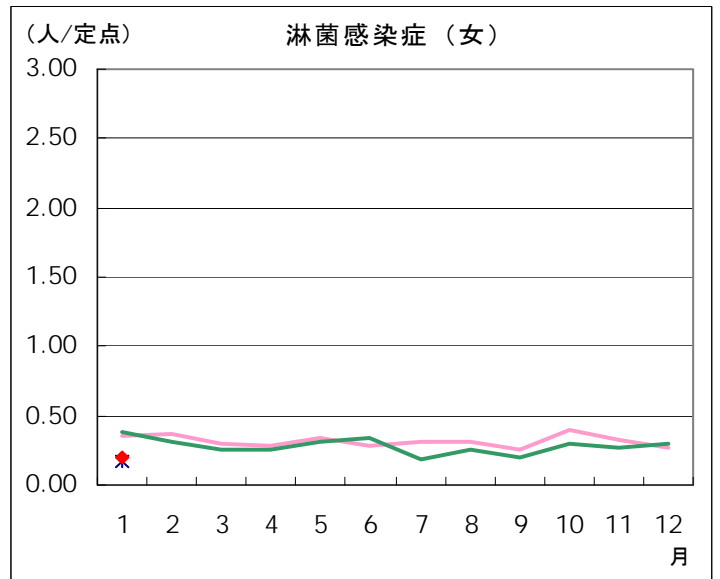
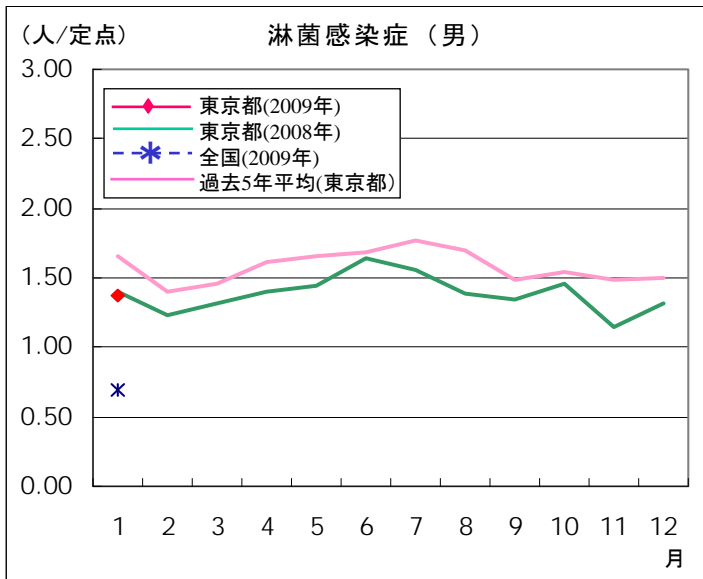
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	11	6	7	11		
中央区	3	7		1	2		
みなの	2	8	2		1		
新宿区	6	17	13	21	21		
文京	1	7	1		5		2
台東	3						
墨田区	2	1					
江東区	2	13	3	3	13		2
品川区	1	3	1				
大田区	2	4			2		
渋谷区	4	5	2		1		
中野区	2	4	1	2			1
杉並	2	2			3		
池袋	3	15	4	6	8		
北区	1	1		1			
荒川区	1						
板橋区	2			1	1		
足立	2	1	2		3		
江戸川	2	1		1	1		
八王子市	4						
町田	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3				2		
多摩小平	1						
合 計	54	100	35	43	74		5
定点当たり		1.85	0.65	0.80	1.37		0.09

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	1	1				
中央区	3	2		3			
みなの	2	12	8	5			
新宿区	6	4	5	2	4		
文京	1						
台東	3	9	2		2	1	
墨田区	2	1				1	
江東区	2	1					
品川区	1						
大田区	2	3					
渋谷区	4	3	3				
中野区	2	1		1		3	
杉並	2	3	2			1	
池袋	3	8	4	5	1	1	1
北区	1						
荒川区	1						
板橋区	2	4	1		1	2	
足立	2						
江戸川	2	4	1		2	4	
八王子市	4	14	2	1		1	
町田	1	3					
多摩立川	2	12	2	1	1	1	
多摩府中	3						
多摩小平	1					1	
合 計	54	85	31	18	11	16	1
定点当たり		1.57	0.57	0.33	0.20	0.30	0.02

# 月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2009年1月現在

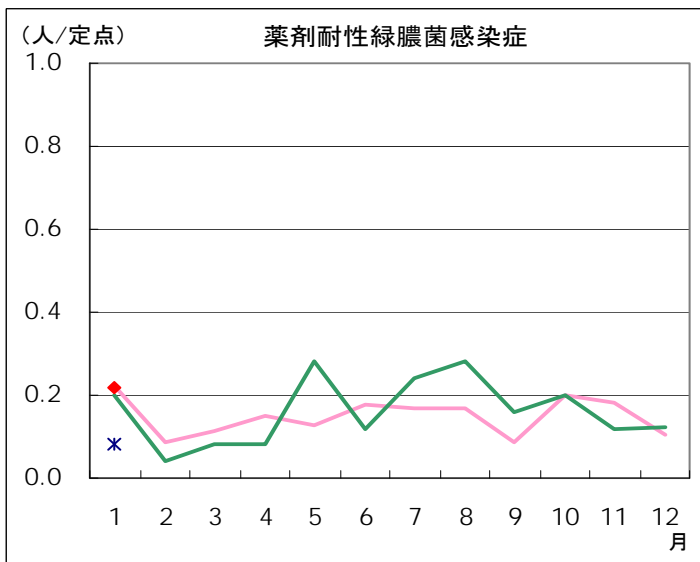
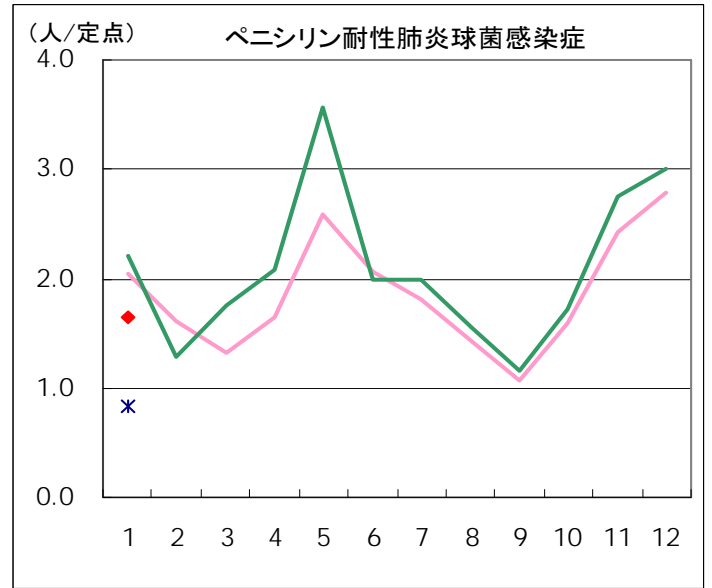
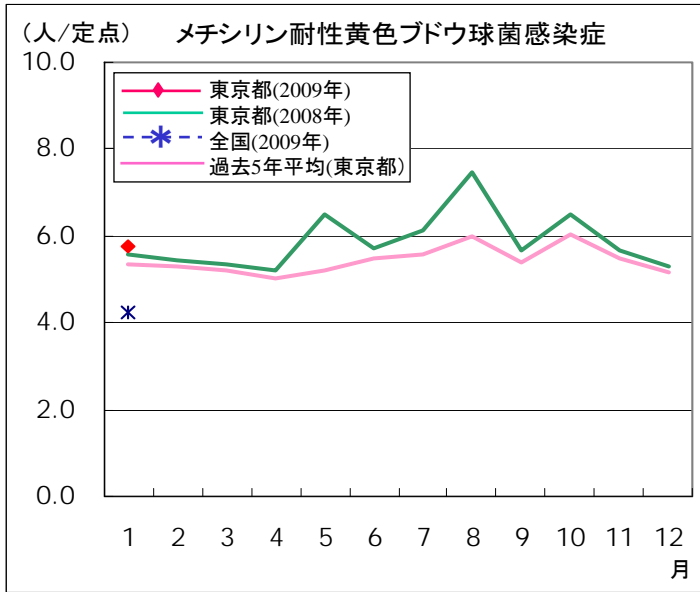
## ◆ 性感染症定点







◆ 基幹定点



## 月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

\*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
1/6	淋菌性尿道炎	29	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子 分離同定
1/6	淋菌性尿道炎	33	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	
1/6	尿道炎	55	男	尿	淋菌	
1/6	陰茎コンジローマ	58	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス6型	遺伝子
1/7	陰茎コンジローマ	35	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス11型	
1/8	尿道炎	29	男	尿	クラミジア	
1/13	淋菌性尿道炎	50	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
1/13	陰茎コンジローマ	47	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス11型	遺伝子
1/13	陰茎ヘルペス	51	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	
1/15	尿道炎	39	男	尿	<i>Candida albicans</i>	分離同定
1/15	尿道炎	28	男	尿	クラミジア	遺伝子
1/16	クラミジア膺炎	23	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	
1/19	尿道炎	29	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	
1/19	尿道炎	34	男	尿	クラミジア	
1/19	尿道炎	記載無し	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	
1/19	尿道炎	36	男	尿	クラミジア	
1/20	尿道炎	45	男	尿	クラミジア、淋菌	
1/21	尿道炎	34	男	尿	淋菌	遺伝子 分離同定
1/22	トリコモナス膺炎	37	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	トリコモナス、クラミジア	遺伝子
1/28	尿道炎	27	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子 分離同定
1/28	尿道炎	24	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	遺伝子
1/28	陰茎ヘルペス	60	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	
1/29	尿道炎	43	男	尿	クラミジア	